

ミュージアムだより

Vol.
008

今年のやんば天明泥流ミュージアムの夏休みはイベントもりだくさん！
ハッ場ダムとミュージアムを半日でめぐり、地域の今と昔を体験する親子向け企画や、
新企画・夜のミュージアムを探検できる「ナイトミュージアム」を開催。夏休み期間中は、
1冊で自由研究が完成できる見学シートもご用意します。ぜひご家族でお出かけください！



スケジュール

詳細はHPでご確認ください。【お問い合わせ／お申し込み：0279-82-5150】

	特別展示・イベント	その他
7月	【夏休み親子向け特別企画】 「おやこ de やんば ～ハッ場の今と昔を体験しよう～」 7/28（日）・8/17（土）9:30 集合～12:50 解散 半日でハッ場ダムとミュージアムを巡って見学。イベント限定の企画もあります。 ※詳細は別途チラシ・HPをご覧ください	
8月	【新企画！】 ナイトミュージアム 2024 8/23（金）18:30～20:00 ふだんは見られない夜のミュージアムを探検しよう！	 夏休みの宿題は ミュージアムにおまかせ！ 「自由研究シート」 配布します！
9月	【秋季企画展 vol.2】 長野原の中世と柳沢城（仮） 9/14（土）～11/4（月休） ※詳細は別途チラシ・HPをご覧ください	

施設案内

開館

9:00～16:30
(最終入館 16:00)

休館日

水曜日
※水曜が祝日・振替休日の場合はその翌日
※年末年始

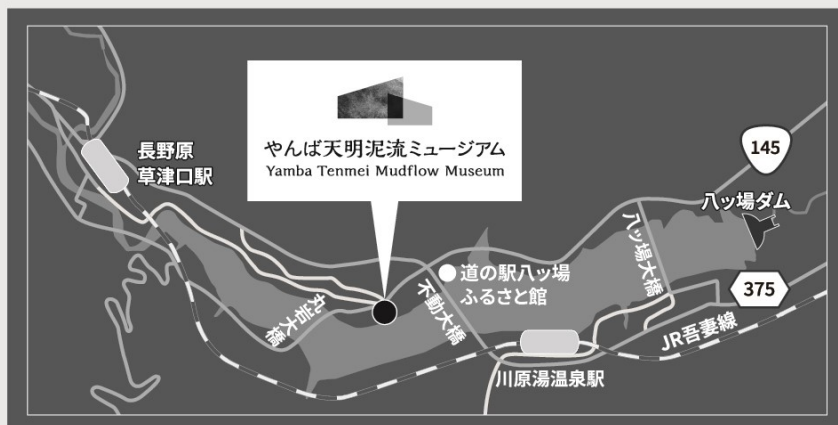
入館料

一般：600円（500円）
小・中学生：400円（300円）
※（ ）内は15名以上の団体割引料金 ※町民無料

お問い合わせ

TEL:0279-82-5150 FAX:0279-82-5152
群馬県吾妻郡長野原町大字林1464-3

アクセス



現在「お茶」というと、急須で入れる煎茶を思い浮かべますが、天明の頃までは、茶葉を煮出して茶^{ちゃ}筥^{せん}でたてて飲む「振^ふり茶」が一般的な喫茶方法でした。富山県朝日^{あさひ}町蛭谷地区には「バタバタ茶」と呼ばれる振り茶が残っています。専用の茶葉を麻袋に入れ、茶釜で煮出した茶を茶碗に注ぎ塩^{しほ}をひとつまみ入れ、2連結の夫婦茶筥でバ

タバタと泡立てて飲みます。

長野原町の天明3年に被災した家屋からは、茶釜や麻袋に入った茶葉、茶碗、夫婦茶筥が出土しており、噴火当日も振り茶を楽しむ日常があったことがうかがえます。(向出)



ミュージアム 私のイチオシ！



阪井 学 さん
(ミュージアム
サポーター)

展示室の一番最後に、縄文時代から平安時代までの土器等を展示したエリアがあります。八ッ場ではおよそ一万年前から人が住み始め、縄文時代中期には大規模集落ができるほどでした。きっと木の実などの食糧を得やすい土地だったのでしょう。

ところが弥生時代に入ると集落が激減。時代は狩猟採集から水田稲作へ。いったい八ッ場の人達に何が起こったのか？！土地が稲作に適さず、人が流出したのか？ 感染症の発生で集落のほとんどの人が亡くなったのか？ 水田を所有する人だけが富み、それ以外の人は土地を追われたのか？

皆さんもミュージアムで縄文土器を眺めながら、遙か太古の時代に、想いを馳せてみてはいかがでしょうか。



活動報告

GWイベント「土器ドキ＊ウィーク」 今年も盛況でした！

GW期間中に開催した「土器ドキ＊ウィーク」には、家族連れのお客様を中心に昨年を上回る来場者があり、ホンモノの土器に触れたり抱っこしたり、スケッチや塗り絵などの体験を楽しんで頂きました。今年度、初めておこなったWS「縄文コースターをつくろう」も好評で、小さなお子さんから大人まで、色の組み合わせや模様にこだわったオリジナルコースターを完成させました。



お知らせ

「長野原町の＜萌え・映え＞ スポットをめぐってみよう！」

ミュージアム併設の第一小学校旧校舎にて、夏休みにめぐってみたい長野原町内の「萌えて・映える」スポットをご紹介します。岩陰に石仏が並ぶパワースポットから、鉄道の廃線後に残る鉄橋など、当館職員がおすすめしたい知られざる魅惑のスポットをマップとともに展示します！

